

緑のボランティア通信

2019.7.1

No.61

特集!

こども黄緑クラブ

「こども黄緑クラブ」とは、「川崎市の身近な環境で、次世代を担う子どもたちと保護者の方に、花と緑に親しみながら自然の中でおもいっきり体を動かし、豊かなふるさと川崎を体験してもらおう」というイベントです。春夏秋冬で未就学児や小中学生を対象に開催しています。

今号では直近に開催した春編を通して、こども黄緑クラブをご紹介します。

春編のテーマは「春の草花あそびと虫さがし」。

虫の生態や草花遊びの絵本を執筆されている高柳芳恵先生を招いて、1歳半から5歳の子どもたち20名と草花遊びをしました。

会場の橘公園（高津区子母口）は住宅地に囲まれた公園ですが、春ならではの植物や遊びを先生にたくさん教えてもらいました。一部ですがご紹介します。



● 楠（クスノキ）の香り

楠の葉をちぎると、樟脳の独特な香りがします。

● くるくる回って落ちるタネ

園内のユリノキの根元にはタネがたくさん落ちていました。このタネには翼がついていて、投げてみるとくるくる回りながら落ちていきます。



● ドングリの赤ちゃん

秋によく見るドングリですが、春でも枝をよく見ると、これから大きくなるドングリの赤ちゃんが付いています。

今回は春編をご紹介しましたが、これからも植物や昆虫はもちろん、実際に木を切ったりする里山活動等をテーマにして開催しますので、是非、各区役所等のチラシや当協会HPでチェックしてください。

これから参加できる「こども黄緑クラブ秋編」のお知らせ

こども黄緑クラブ秋編「ザリガニとドングリ」 ※小・中学生とその保護者が対象

● 第1回 10月20日（日）10時～12時 川崎の水辺とザリガニについて
会 場：黒川谷ツ公園（麻生区はるび野）
講 師：石綿 進一さん（神奈川工科大学客員研究員）

● 第2回 11月10日（日）10時～12時 ドングリとシギゾウムシのお話し
会 場：川崎市公園緑地協会（中原区等々力）
講 師：高柳 芳恵さん（「どんぐりの穴のひみつ」偕成社 著者）

● 申込方法：はがきに郵便番号、住所、氏名、学年、電話番号、保護者氏名、希望日を明記し、10月3日必着で公園緑地協会「こども黄緑クラブ秋編」係宛に送付ください。締切日に定員各20組（40人）を超えた場合は抽選となります。



目次

こども黄緑クラブ特集	1
わがまち花と緑のコンクール入賞作品 / 花と緑のまちづくり講座受講生募集	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

第15回わがまち花と緑のコンクール 入賞作品決定

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施している「第15回わがまち花と緑のコンクール」は、115件の応募をいただきました。そして、市民運営委員による現地調査と、学識経験者等の選考委員を経て、大賞ほか各賞が決定しましたので一部ではありますがご報告します。

なお、表彰式は6月29日（土）に中原市民館で行われ、記念講演やコンクールの結果報告と全応募作品が掲載されている「花と緑のマップ」の配布を行いました。このマップは各区役所等に配布しますので是非ご覧ください。



市営清水台
団地自治会
みどりの会
(宮前区)

団体の部

(敬称略)

賞名	区	団体名
大賞	宮前	市営清水台団地自治会 みどりの会
第15回記念特別賞	多摩	五反田自治会
沿線パワーアップ賞	多摩	菅町会 環境整備委員会
彩りのみち奨励賞	麻生	エコガーデンはるひ野
川崎のおもてなしゲート賞	宮前	土橋園芸クラブ
元氣いきいき賞	幸	川崎市立夢見ヶ崎小学校
新人賞	宮前	野川第一公園管理運営協議会



金子 実さん
(高津区)

個人の部

(敬称略)

賞名	区	個人氏名
大賞	高津	金子 実
第15回記念特別賞	麻生	杉浦 百合子
鮮やかガーデン賞	麻生	和久井 光一郎
ナチュラルグリーン賞	宮前	大島 京子
彩り街かど賞	川崎	森 耐子
新人賞	幸	小玉 恵公

令和元年度「花と緑のまちづくり講座」受講生募集

(緑化推進リーダー育成講座)

これから緑のボランティア活動を始めようと考えている方や、すでに活動をしている方が花と緑の基礎知識を学び、花壇作りを実践しながら仲間作りをしていく講座です。

市内在住、在勤、在学で原則全6回出席できる方、ふるってご応募ください。



日時	講義内容	会場
第1回 9月19日(木)	川崎の花と緑を知る 講義・・・緑の基本計画、緑の動向、市民活動の事例	中原区役所会議室
第2回 10月17日(木)	花と緑の基礎知識を学ぶ 講義・・・花と緑、土の基礎知識、植物をより深く知るために	中原区役所会議室
第3回 10月31日(木)	花と緑のデザインを考える 講義・・・活動リーダーについて、活動プログラムの基本、花壇デザイン	会館とどろき
第4回 11月14日(木)	花壇を創る 実習・・・花壇デザインの合意形成、花壇づくり	会館とどろき
第5回 12月12日(木)	花と緑のまちづくりを学ぶ 講義・・・ボランティア保険制度、活動実践例	中原区役所会議室
第6回 1月23日(木)	花と緑のまちづくりを提案する 発表・・・まちづくり計画の発表	中原区役所会議室



講座の時間は、午前10時～午後4時(昼休み1時間)です。

応募チラシ(区役所、市民館などに配布。協会HPでもダウンロードできます。)

の申請書を公園緑地協会あてに送付、FAXまたはメールで送付ください。

●募集期間 令和元年7月1日(月)～8月10日(土) 必着
参加費無料 定員30名(応募多数の場合抽選)



“一花会” 下小田中1丁目町会G・C (平成13年設立)

活動場所 下小田中1丁目町会内 (中原区) 市立大戸小学校・大戸神社・小田中保育園・樽型プランター各所
交通案内 JR南武線「武蔵中原駅」下車 徒歩5分

私たち「一花会」下小田中1丁目町会G・Cは、平成13年にガーデニング同好会として、当時の町会長より、町会会員の今後予想される高齢化人生に向けて、草花の植栽など町会各所の環境美化の推進と、会員の健康増進・親睦を図る目的で設立されました。

設立から今日までの年月には、先輩方の試行錯誤 (当会発展の努力) により、春季・秋季緑化活動 (各箇所プランター草花植栽)、7月には会員のカサブランカ展示、秋の菊花展等を年間行事の軸事業として行うまでになり、会員一同活躍しております。



なお、川崎市公園緑地協会主催の花と緑の交流会では緑の活動団体の団体報告として当会の「活動報告・会員の活動パネル」を発表することができました。

また、平成25年度には川崎市環境功労者表彰状を受領することができました。

当会も会員が高齢化しておりますが、元気が令和に変わりました今日、綺麗な街・住み良い街として将来を託す若い世代にバトンタッチできる様に、元気いっぱい活動していきます。
(喜古 由郎)

有馬オープンガーデンの会 (平成13年登録)

活動場所 有馬ふるさと公園、有馬かえで公園
交通案内 東急田園都市線「鷺沼駅」下車 徒歩15分

群馬の尾瀬にある片品村のオープンガーデンが新聞に掲載され「農家の敷地で語らいの時」といった見出しが躍ったのは今から18年前のこと。もう20年近く経ちます。オープンガーデンに感銘を受けた私たちは、有馬ふるさと公園を拠点に活動しながら、遠くの片品村と交流したり近くの郵便局への植栽などの活動を始めました。

当時はNHKで放映されることもあり、「有馬地区は植木の里」といったイメージがあった私たちは、有馬からの情報発信ができればと活動していました。また、当時の30名近いメンバーの中心は地域の若いお母さん方で、活動は子育てを兼ねたものでした。今はすっかりメンバーも変わり、小学校の児童も加わるようになってきました。活動場所も近くの「有馬かえで公園」も加わり拡大しております。これからは、地域のコミュニティの活動場として、さらに拡大していければいいと思っています。周辺では近隣の庭やマンションのベランダに花を植える人も増え「花がきれいですね。」と声をかけてくれる人も増えました。

西有馬小学校では私たちと児童と一緒に有馬ふるさと公園で樹名板を設置するカリキュラムを授業に組み込んでいて、児童の緑や花に対する関心も高まってきているようです。また、子供たちにとってもこの公園の緑は遊び場であると同時に自分たちの「ふるさと」といった気持ちが生まれ、積極的にゴミ拾い等も行ってくれるようになっていきます。

これから活動メンバーの高齢化や後継者問題が大きな課題となっておりますが、まずは楽しく活動を続けることを目標にしています。
(影山 亥史郎)



Summer

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ポイント

花がら摘みについて

枯れたり散った花（見ごろを過ぎた花）などを「花がら」といいます。花がらは見た目が悪いだけでなく、葉っぱについてカビてしまうこともあります。また、花がらの後には種が実ることもあり、そこに養分を取られてしまうと花付きが悪くなることもあります。タネを取るのであれば、花を見せてくれたお礼も含めて花がらは摘み取りましょう。

No.11 ジニア * 一年草

*開花期 6月～11月
*花言葉 幸福



ジニア（百日草）は種類が多く、暑さに強いので夏の花壇に向いています。一度根づくとも生育も旺盛です。

花色は白、ピンク、赤、オレンジ、黄などがあり、一重咲と八重咲があります。

初心者でも育てやすく、開花期も百日草と言うだけあって長いです。もちろん肥料や管理次第です。

高さは15cm～40cm位のものが多く流通しています。日当たりは良い所を好みます。

花の芯の部分が黒くなってきたら、花がらを摘みましょう。



No.12 ヒマワリ * 一年草

*開花期 7月～9月
*花言葉 憧れ



食用や鑑賞用と種類がたくさんあります。

種から育てますが、ミニヒマワリなどはポット苗でも入手可能です。

花の色は黄色が一般的ですが、他にも赤系や茶系、そして一重咲きや八重咲など多種にわたります。

高いものは3m、小さい物だと20cm位のものまであります。

夏に咲いているヒマワリは、太陽のようで元気になりますよね。

（株）泉樹園、手塚賀久



公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<http://www.kawasaki-green.or.jp>